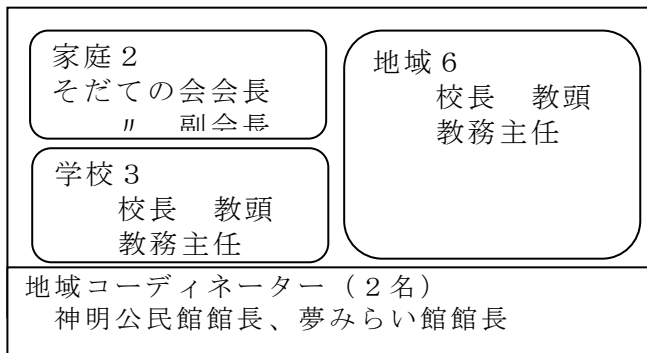


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- | |
|---|
| ①開催予定回数 年3回
②開催日程 5/24 9/26 2/6
③協議内容
・スクールプラン及び活動計画
・教育活動評価項目の分析とアンケート結果への提言
・喫緊の課題 |
|---|

(3) 協議会における成果と課題

「子どもたちとメディア その影響を探る」について協議会でも話題とし、意見交換をして、家庭や地域との連携が不可欠であることを共有することができた。一方でメディアを利用する時間が帰宅後であることから、児童の健全育成には家庭や地域の協力が不可欠であることを再認識した。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の魅力を発見したり課題等を考えたりする体験学習（ふるさと学習）を実施することで、ふるさと鯖江や神明地区に誇りや愛着をもち、自信をもって主体的に行動しようとする児童を育てる。

(2) 具体的な実践

①地域をめぐる縦割り班活動「ふるさとウォークラリー」（1～6年）

「縦割り班でルールを守って仲良く活動することを通して、思いやりの心や協調することの大切さを学び、コミュニケーションの力を育てる。」

「地図をたよりにふるさとを回ることで、神明地区の歴史や文化などに興味をもてるようにする。」を目的に実践し、縦割り班グループで、神明地区の史跡等（神明神社・中央中学校・三六公園・三六武道館）をウォークラリーのように、クイズを解きながら回った。上学年が下学年の面倒をみたり説明したりしながら、互いに協力し合って散策を進めた。その中で、それぞれの学年の発達段階に応じて地域について新しい発見をすることができ、「ふるさと神明」への関心を高め、愛着を深める活動となった。



②地域のお世話になった方々へ感謝の気持ちを届けよう（４～６年）

地域学習や見守り活動、図書館、クラブ活動などでお世話になっている方々の活動の紹介のビデオを見たり、コメントを聞いたりして振り返り、感謝の気持ちをもつための集会を行った。その後、感謝の気持ちを届けようということでそれぞれの思いを手紙に書いて届けることにした。



飼育栽培委員会で育てた花を、地域学習や見守り活動でお世話になっている方々へ届けた。自分たちで育てた花を感謝の気持ちを書いたお手紙とともに届けることで、地域を美しくするとともに、自分たちの活動をアピールした。

（３）地域コーディネーターの活動概要

神明公民館館長、夢みらい館館長が、児童が神明地区の歴史や文化財、産業等を調査する活動のコーディネーター役として連絡調整を担った。

（４）特に工夫した事項

- ・地域素材の教材化や人材の活用の工夫
- ・児童の思いや考えを活かし児童が主体的に活動するための異学年交流の場の設定の工夫
- ・情報発信の方法と発信する場の工夫

（５）成果と課題

スクールプランに「信頼される学校づくりの推進」として家庭・地域と連携した学校づくりを掲げ、その達成のために地域の教育力を活かし、ふるさとを愛する児童の育成をめざして取り組んできた。縦割り班活動を通じた活動により異学年交流をするとともに、それぞれの学年の地域への気付きや学びを伝え合うことにつなげることができた。地域素材の教材化や人材を活用し、児童一人一人に相手意識や目的意識、場面意識をもたせることで、自主的に調べ、発信しようとする意識が高まってきた。また、「自分の住んでいる町内や神明地区が好きですか」というアンケートに９０％近い子が肯定的に答えていた。

これから、地域に学び積極的に地域に関わろうとする児童の姿をめざして取組を進めていき、地域に愛着をもち、自分の住む地域から市、県へとふるさとへの意識を高めいきたい。